



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 安田倉庫株式会社
 コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤田 久行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 ゆかり
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3452-7311

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,264	2.7	417	28.9	465	25.2	286	13.0
29年3月期第1四半期	9,991	3.4	587	36.0	623	33.7	253	13.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,801百万円 (%) 29年3月期第1四半期 418百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	9.72	
29年3月期第1四半期	8.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	113,001	63,783	56.2
29年3月期	109,156	61,188	55.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 63,547百万円 29年3月期 60,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		7.00	14.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,600	4.0	670	42.3	950	32.8	630	32.2	21.35
通期	42,700	5.0	1,850	28.2	2,400	22.6	1,600	23.2	54.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	30,360,000 株	29年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	854,542 株	29年3月期	854,542 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	29,505,458 株	29年3月期1Q	30,347,598 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業務予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）におけるわが国経済は、欧米における政策の不確実性による影響や中国その他新興国経済の下振れリスクがある一方、企業収益や雇用情勢が改善し個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

こうした経済情勢にあつて、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では一部荷動きに回復の兆しが見られたものの、輸出入貨物量の伸び悩みや企業間競争の激化などがあり、また、不動産業界ではオフィス空室率は改善傾向にあるものの賃料水準は本格的な回復には至らず、依然として厳しさの残る状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、「お客様のビジネスをサポートするグローバルな物流会社」としてお客様と共に成長する、を掲げ、「中期経営計画2018」の目標達成に取り組んでおります。その一環として、物流事業では、国内外における物流施設の増強による事業基盤の強化を図り、不動産事業では、既存施設の稼働率の維持・向上に努めるとともに、保有資産の再開発を進め、事業拡大を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益では、物流事業、不動産事業とも前年同期比で増収となり、前年同期比273百万円増（2.7%増）の10,264百万円となりました。営業利益では、物流施設の新設に伴う一時的な租税公課の増加などにより、前年同期比169百万円減（28.9%減）の417百万円、経常利益は前年同期比157百万円減（25.2%減）の465百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期に投資有価証券評価損があったことなどにより、前年同期比32百万円増（13.0%増）の286百万円となりました。

セグメントの業績は、次の通りです。

物流事業では、営業収益は既存顧客の取引拡大などにより国際貨物取扱料や倉庫作業料などが増加し、前年同期比147百万円増（1.7%増）の8,983百万円となった一方、セグメント利益は物流施設の新設に伴う一時的な租税公課の増加などにより、前年同期比178百万円減（27.3%減）の474百万円となりました。

不動産事業では、賃貸オフィスビルの取得による不動産賃貸料の増加などにより、営業収益は前年同期比144百万円増（11.6%増）の1,396百万円、セグメント利益は、前年同期比29百万円増（7.5%増）の427百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の時価評価が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ3,845百万円増の113,001百万円となりました。

負債については、投資有価証券の時価評価増加に伴う繰延税金負債の増加により、前連結会計年度末に比べ1,250百万円増の49,218百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ2,595百万円増の63,783百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント増の56.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ74百万円減の3,823百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などの資金増加と、法人税等の支払等による資金の減少により89百万円の資金収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得により328百万円の資金支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の増加により180百万円の資金収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、概ね計画通り推移しております。従って、連結業績予想については、平成29年5月10日発表の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,910	3,859
受取手形及び営業未収金	5,865	5,421
繰延税金資産	282	200
その他	499	586
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	10,555	10,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,220	29,753
機械装置及び運搬具(純額)	1,205	1,254
工具、器具及び備品(純額)	564	595
土地	21,683	21,683
建設仮勘定	3,465	1,477
有形固定資産合計	54,140	54,764
無形固定資産		
借地権	1,016	1,016
その他	1,695	1,666
無形固定資産合計	2,712	2,683
投資その他の資産		
投資有価証券	40,403	44,123
繰延税金資産	181	180
その他	1,187	1,208
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	41,747	45,487
固定資産合計	98,600	102,935
資産合計	109,156	113,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,683	2,533
短期借入金	4,150	5,150
1年内返済予定の長期借入金	5,261	5,015
未払法人税等	757	74
未払費用	958	703
その他	1,396	2,192
流動負債合計	15,207	15,669
固定負債		
長期借入金	15,366	14,994
繰延税金負債	11,031	12,165
退職給付に係る負債	2,211	2,227
長期預り敷金保証金	3,788	3,815
その他	360	345
固定負債合計	32,759	33,548
負債合計	47,967	49,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	29,623	29,703
自己株式	△662	△662
株主資本合計	35,365	35,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,790	28,371
為替換算調整勘定	△218	△282
退職給付に係る調整累計額	13	12
その他の包括利益累計額合計	25,585	28,102
非支配株主持分	237	235
純資産合計	61,188	63,783
負債純資産合計	109,156	113,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業収益		
保管料	1,564	1,537
倉庫作業料	1,910	1,958
陸運料	2,794	2,745
国際貨物取扱料	1,696	1,828
物流賃貸料	389	407
不動産賃貸料	887	966
その他	748	820
営業収益合計	9,991	10,264
営業原価		
作業費	4,613	4,731
人件費	1,685	1,748
賃借料	458	535
租税公課	218	229
減価償却費	566	521
その他	1,193	1,308
営業原価合計	8,735	9,075
営業総利益	1,256	1,189
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	305	310
福利厚生費	50	56
退職給付費用	10	9
減価償却費	28	28
支払手数料	97	113
租税公課	31	98
その他	144	155
販売費及び一般管理費合計	668	771
営業利益	587	417
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	90	98
雑収入	8	12
営業外収益合計	100	111
営業外費用		
支払利息	61	56
雑支出	3	7
営業外費用合計	65	64
経常利益	623	465
特別利益		
固定資産売却益	2	4
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産廃棄損	19	8
投資有価証券評価損	151	-
中途解約損	-	10
特別損失合計	170	19
税金等調整前四半期純利益	455	450

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
法人税、住民税及び事業税	106	85
法人税等調整額	93	77
法人税等合計	199	163
四半期純利益	255	287
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	253	286

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	255	287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△580	2,580
為替換算調整勘定	△90	△65
退職給付に係る調整額	△2	△0
その他の包括利益合計	△674	2,514
四半期包括利益	△418	2,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△414	2,803
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	455	450
減価償却費	594	549
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	14
受取利息及び受取配当金	△91	△99
支払利息	61	56
固定資産廃棄損	19	8
投資有価証券評価損益 (△は益)	151	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△117	436
仕入債務の増減額 (△は減少)	△101	△144
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	20	26
その他	143	△519
小計	1,138	780
利息及び配当金の受取額	90	99
利息の支払額	△61	△55
法人税等の支払額	△314	△734
営業活動によるキャッシュ・フロー	853	89
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△373	△242
無形固定資産の取得による支出	△34	△51
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△120	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△529	△328
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	800	1,200
短期借入金の返済による支出	△410	△200
長期借入れによる収入	1,200	700
長期借入金の返済による支出	△1,328	△1,318
配当金の支払額	△208	△200
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	52	180
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	360	△74
現金及び現金同等物の期首残高	3,198	3,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,558	3,823

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	8,832	1,158	9,991	-	9,991
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	2	92	95	△95	-
計	8,835	1,251	10,087	△95	9,991
セグメント利益	653	398	1,051	△463	587

(注) 1. セグメント利益の調整額△463百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△458百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	8,975	1,289	10,264	-	10,264
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	8	106	115	△115	-
計	8,983	1,396	10,379	△115	10,264
セグメント利益	474	427	902	△484	417

(注) 1. セグメント利益の調整額△484百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△480百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。